

みはらふくし情報

ぼらせんだより 3月

ひなまつり



手話奉仕員養成講座が始まります！

期間：4月3日（金）～平成28年2月5日（金）全40回

（原則毎週金曜日）

会場：サン・シープラザ 4階 第二研修室

★昼間部

10時30分～12時

★夜間部

19時～20時30分

定員：昼・夜 各20名

対象：高校生以上

資料代：1,100円（資料代1,000円と保険料100円）

申込み締切：3月31日（火）

お問合せ・お申し込みは・・・

三原市ボランティア・市民活動サポートセンター

TEL：0848-67-9339 FAX：0848-63-0599

Mail：miharavs-c@m-shakyo.jp

＜内容＞

厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム課程に沿って指導します。聴覚障害者の基礎学習と、ろう者と手話で会話が可能になることを目的とした講座です。

ありがとう



お知らせ

ボランティア保険・更新の時期です！

ボランティア活動保険の更新は済んでいますか？

前年度の保険は、3月31日をもって期間が終了しますので、改めて保険の加入手続きにお越しく下さい。

◆平成27年度ボランティア活動保険

保険期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

手続窓口：三原市ボランティア・市民活動サポートセンター

保険料：100円/1人

※被災地へのボランティア活動保険は、天災タイプにご加入いただきます。

手続きには、名簿（名前・住所・電話番号）と保険料が必要です。

報 告

(2月14日 広島県社会福祉会館にて)

行ってきました！ボランティア交流サミットひろしま2014！！

今年で3回目となるこのサミット。直接お話しを聞くことができるのが魅力的で、今年は15の活動団体がブース出展しました。



三原市からは、「さぎしまを愛するボランティアガイド」さんがブース出展。

約160人の参加者はブースを回り交流を深めたあと、「もう一度聞きたい！あの団体の話・・・」と思った団体へ投票します。上位3団体には、クロージングトークでお話しを伺うことができ、「さぎしまを愛するボランティアガイド」さんのお話しもお聞きしました。

オープニングトーク

「つながることの大切さ～広島土砂災害ボランティア活動の経験から～」をテーマに4人のパネラーのお話です。

福島の災害を機にボランティア活動を始められ、そのご縁もあり人との関わりから喜びをもらうことに気づいた安佐北区の中木さん。

災害ボランティア活動だけでなく、様々な個人・団体・地域コミュニティなどによる支援を受け、社会は人のつながりであることを実感した安佐南区の土谷さん。

災害ボランティアセンターの立ち上げから関わり、「地域力のすごさ」「災害ボランティア経験豊富な人材」「学生の力」「専門職による支援チーム」がポイントだったと話された特定非営利活動法人かべ工房村の国松さん。

「近所＝近くの人と助け合う」という言葉、地域で動けるボランティアとして「あの子どもたちに頼んでみよう、と顔が浮かぶ関係になりたい。自分の身近な人から大切にしていきたい」との強い思いを話されたボランティア団体 OPERATION つながりの鬼村さん。

大切なのは「つながりは自らが作っていかねばいけない」ということ、そのために出会っていきたくと思います。

午後からはフリーでブースを訪ねます。私は2時間の間にやっと11団体を訪ねました。

**クロージングトーク**

「もっと話を聞きたい3団体」がつながりについて思うことを話されました。



「さぎしまを愛するボランティアガイド（風光明媚な景観や史跡の観光地を来島者と交流しながら案内、新たに『海浜セラピー』を創設）」は、活動に対して、体験した人の反響が地域の人々の気持ちを変化させたこと。それが活動の自信や地域への誇りにつながっていること。

「お掃除ボランティア『さわやか』（依頼者宅をお掃除して生活環境のアップ、スムーズなサービス利用につなぐ）」は、学ぶのは掃除の技ではなく、掃除が必要な現状を知って「何かしたい」と考えること。それが行動する気持ちにつながる。

「学生環境保全体チーム女子畑（放作地でのコメ作りを通じた地域交流、農林水産系ボランティア活動）」は、放作地の工夫を考える自治体の想いと生物生産学部で学んだことを活かしたい学生の想いがつながったこと。もっとつながる場を求めていること。

とても楽しく、刺激を受ける1日でした。

私の近くに座っていた方も佐木島に行ってみたい、と話しておられましたが、その佐木島で、3月14日（土）に海浜セラピーの体験があります。

ご案内は、次のページで



(ボランティアセンター平野)

ボランティア活動掲示板 **知る 行く 参加する**

海浜セラピー® in さぎしま

日本初の海浜セラピー®を体験できます。綺麗な海と空のもと、浜辺の気持ち良さを五感で感じ、セラピーストレッチで体と心を解放させ、心身共にリラックス・リフレッシュできます。きれいな菜の花もお出迎え、島で採れた食材を使ったヘルシーなセラピーランチで体の中からパワーチャージ！ボランティアガイドがご案内します。

料金
4,000円

- ◆日時：3月14日（土） 三原港9時集合～三原港15時05分散
- ◆主催：元気さぎしま協議会／さぎしまを愛するボランティアガイド
- ◆募集人数：20名（3月10日までに申し込みください）
- ◆お申込み・お問合せ：一般社団法人三原観光協会（三原市城町1-1-1） TEL 63-1481

東日本大震災から4年・・・ とととに集まろう！3・11

東日本大震災から、間もなく4年が経とうとしています。その中、昨年8月20日発災の広島市豪雨土砂災害により、74名の死者、396件に上る家屋の全・半壊、4000件あまりの床上・床下浸水と甚大な被害となり、その支援活動にも三原から参加しました。

*日時：3月11日（水）
10：00～16：00

*場所：三原港湾ビル1階

*主催：特定非営利活動法人
みはらまちづくり兔っ兔

このように、全国で災害が起きている中、とととに集い今一度、災害を自分の事として考える日としたいです。3月11日に「とととに集まろう！3.11」を開催します。

みなさんがそれぞれにできる方法で、改めて被災地の復興のために、また我が三原の防災、自分の防災について何ができるのかを一緒に考えませんか？

清田くんのカレー ￥700(サラダ付き)

復興ケーキセット ￥600

東北の復興ブース販売



展示会

- ★広島土砂災害に関する資料写真展示
- ★東日本大震災の写真展示
- ★未来につなげる旅のまとめ集
- ★自分の身を守る 書籍展示

みんなで唄おう
弾き語り♪♪♪DAISAKU 君

非常食販売

震災募金箱設置

みなとオアシス三原
拠点である城町・港町の方々も一緒に考えてみませんか？
兔っ兔に集まりましょう。
待っています(*^_^*)

えほんのおばちゃんのお話
「絵本の読み語り」

とととのパン販売

問い合わせ 特定非営利活動法人みはらまちづくり兔っ兔 小川
TEL・FAX (0848) 63-5575 メール mihara@totto.info

◆三原市社協の手話通訳設置状況が変わります◆

平成27年4月1日～平成28年3月31日

	勤務時間 等
木曜日	第1・3・5 9：00～16：00 第2・4 8：30～17：15
金曜日	全週 9：00～16：00

助成金のお知らせ

2015年西条・山と水の基金報奨事業(3/16締切)

1年以上の活動実績のある「東広島市とその周辺流域に活動の拠点がある団体」(海洋資源保全や海岸の清掃活動などを主催する団体など。大学サークル、会社内のボランティアクラブなど非営利活動なら団体の種類は問いません。)であれば、応募可能で、用途を限っていない珍しい助成金です。

【対象テーマ】

里山保全・育成活動、地下水・池・川・海などの水環境保全活動をはじめ、生物多様性保全や地球温暖化対策活動、里海を守る植林など、自然環境保全を目的とした“山づくり、水づくり、美しいふるさとづくり”などにかかわる活動

【報奨対象】

- (1)山、水、里等の環境の保全・育成を目的に、継続した活動を行っている非営利団体
- (2)東広島市とその周辺流域に活動の拠点があること【下記一覧参照：一部抜粋】
沼田川：北部鷹ノ巣山 東広島市，三原市
賀茂川：東広島市，竹原市，三原市
- (3)1年以上活動を続け、今後も活動を続けること
- (4)規約等により適正な運営がなされていること

【報奨内容】

「山水(やまみず)大賞」及び「山水(やまみず)賞」として、表彰と活動資金の提供を行います。

【応募方法】

「西条・山と水の基金 報奨事業応募用紙」に必要事項をご記入の上、添付資料と共に西条・山と水の環境機構事務局まで郵送、もしくはEメールにてお送りください。

郵送先：〒739-0012

東広島市西条朝日町 6-51 (西条酒造協会内)
西条・山と水の環境機構事務局
報奨事業係 宛

【メールの送り先・応募に関するお問合せ先】

Email: funamoto@publics.jp

TEL: 082-248-3567

※応募要項・応募用紙の必要な方は、ホームページからダウンロードもしくは上記へご連絡してください。郵送かEメールにてお送りします。

ホームページ

<http://www.kamon.ne.jp/~yamamizu/>

【募集期間】

2015(平成27)年1月5日(月)~3月16日(月)

※郵送は当日消印有効、Eメールは日付が変わるまでとします。



点字新刊書のご案内

社会福祉法人視覚障害者支援総合センターより、2014年10月から2015年1月に発行した図書のご案内・購入方法等を、ボランティアセンターでご覧になれます。点訳されたご案内もあります。関心のある方は、ボランティアセンターにお声掛けください!

●ボランティアセンターの窓より●

三原神明市が終わると、寒さがゆるみますなあ・・・



まだまだ寒い日もありますよ!



身体に気をつけて、元気にお過ごしください♥♥♥



●みはら市民協働サイト つなごうねっと

三原のイベントや団体の情報満載!
<http://mihara.genki365.net/>

発行:三原市社会福祉協議会

三原市ボランティア・市民活動サポートセンター

〒723-0014 三原市城町1丁目2-1

(サン・シープラザ 4階)

電話 (0848) 67-9339

FAX (0848) 63-0599

Mail miharavs-c@m-shakyo.jp